


アクセス 東名焼津インターより車で3分。



駐車場完備 自家用車のほか、大型バス6台駐車可能

お知らせ

- 正月三が日は、一年の無病息災を祈って「魔除け」の肩打ちを行います。
- 毎月18日は結縁日です。10時より「魔除け」を行います。住職が、千手観音様にかわって皆様に気を入れます。
- 毎月第一日曜日、朝9時より「般若心経を読む会」を開催しています。般若心経を三遍唱えてお祈りをささげます。

 公式ホームページ

検索キーワードはこちらから

大覚寺全珠院

Google 検索

- 拝観時間
午前9時～午後4時30分
- 法要等で拝観できない場合があります。
- 団体拝観／要予約
- 拝観無料

曹洞宗 大覚寺全珠院

〒425-0088 静岡県焼津市大覚寺1丁目19番1号
TEL.054-628-1811 FAX.054-626-5345

飛焼津千手大観音



だい かく し ぜん し ゅ い ん
開創 嘉祥3(850)年 曹洞宗大覚寺全珠院

千

千手大観音の功德

千手観音は正式には「千手千眼観世音菩薩」。千という文字は具体的な数ではなく、無量無辺を意味していますから、人々のあらゆる願いを叶え、生きとし生けるものすべてを悩みから救ってくれる慈悲の仏さまで、別名「大悲菩薩」とも呼ばれています。両脇からでている脇手は大願を成就させる法力をもち、それぞれの持物（じもつ）は、人々の願いを叶えるための道具。また、仏さまが膝の上に組んでいるのは「禪定印（ぜんじょういん）」で悟りをひらいたときの手。そして胸の前で合掌している手が、礼拝する人の心を受けとめ、願いを受けいれ、脇手に法力を発揮させる千手観音の中心となる手です。

見上げれば、7m 近い高さから微笑みかける優しいお顔と金箔の輝き。人々のあらゆる願いを叶えてくれる法力をもつという、仏さまの前で、静かに合掌すれば、あなたもきっと、何かの力をいただけるはずで



焼津千手千眼観世音菩薩

千手大観音様の大きさは、皆さんが赤ん坊の大きさだとすると、お父さん・お母さんの大きさとで造仏されておりまして、是非！焼津まで足をお運びくださり、日本一の大きさを感じてください。

住職談



京都三十三間堂千手大観音以来、
750年ぶりに造仏された焼津千手大観音



焼津千手大観音 一丈八尺の大仏開眼

千手観音は全珠院の本尊です。
平成十五(2003)年本尊は新たに、
千手観音の大仏となりました。
それは榎田家三十二代夫人の
未来千年の幸福を祈って千年続く
仏像をつくりたいとの発願からはじ
まりました。著名な大仏師、渡邊
勢山氏が、樹齢三百年～四百年の
木曾ヒノキを使って造仏。水中乾
燥法などの古来の技法や、漆塗り
で材の強度を増し、さらに手打ちの
金箔で漆を保護しているため、千年
の歳月に十分耐え得るものです。
複雑な構造をもつ千手観音像には
大仏造立の例がほとんどなく、従来
は、鎌倉時代の仏師・湛慶の作で
知られる京都三十三間堂の丈六
千手観音が最大のものでした。
したがって、この像高4.2メートル、
仏頭1.8メートルの仕上がりは、じつ
に750年ぶりに出現した大仏様式
で日本一大きな千手観音です。



曹洞宗大覚寺全珠院 開創と歴史

神話のヤマトタケル東征の舞台ともなった焼津。嘉祥三(850)年、嵯峨天皇御領、入江荘を開き、伝弘法大師作薬師如来を本尊として真言宗大覚寺が開創されました。現在の「焼津市大覚寺」の地名としてこの地に残っています。たび重なる天災地変を受け大覚寺の法灯は長徳四(998)年、荘園郷主大覚寺屋敷「本家 榎田家」の菩提寺として天台宗善修庵にひきつがれ、弘治三(1557)年曹洞宗全珠院に改められ、今日までの法灯を伝えています。



正玄関



薬師如来像
(850年 秦安 伝弘法大師作)



千手観音像
(998年 秦安)

※公開は致しておりません。

玉光山全珠院方丈

檀家様への接客空間としての客殿の機能や本堂としての
荘厳儀礼の場を合わせ持ち、また、【千手大観音殿】にお参り
される方々の休憩や接待所のための新たな【方丈】建築です。
【全珠院方丈】と【千眼千手観音殿】は周囲の作庭と一体的
に配置されていて、静寂な礼拝の空間を創り出しています。



龍爪(りゅうそう)の庭